

「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2024 第四弾！を実施しました。

2024年10月25日

2024 年 9 月 20 日（金）17 時から本学臨床講義室 1 で『「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2024 第四弾！』を実施しました。

今回は、永源寺診療所長 花戸 貴司 先生をお招きし、「家庭医療×まちづくり 医療と地域の新しいつながりを考える～全ての医療従事者、学生のために！人と地域の絆を学ぶ～」をテーマにご講演いただきました。

当日は学生 16 人、教職員 2 名の合計 18 人の方が参加しました。

最初に、『「地域で支える」を考える』をテーマに参加学生の聞きたい内容に沿ってお話いただきました。東近江市で実践されている「二人主治医制」などの仕組みや、クイズ形式で回答できるように工夫していただきながら、分かり易くお話しいただきました。

最後に、質疑応答を行っていただき、盛況のうちに終了いたしました。

（この講演は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、NPO 法人 滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました）



「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2024 第三弾！を実施しました。

2024年10月25日

2024 年 9 月 6 日（金）16 時から本学看護第 3 講義室で『「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2024 第三弾！』を実施しました。

今回は、弓削メディカルクリニックの中村琢弥先生をお招きし、「地域医療×公衆衛生 家庭医から学ぶ！地域住民集団の健康を守る方法」をテーマにご講演いただきました。

当日は学生 15 人、教職員 2 名の合計 17 人の方が参加しました。

最初に、事例を踏まえて分かり易く家庭医や公衆衛生の在り方などについてお話しいただいた後、実践として、3～4名に分かれて、グループワークを行っていただきました。

『コロナワクチンを多くの方へ接種してもらうためにはどうすればよいか』をテーマに、グループで多くの角度からアイデアを出し合い、グループごとに共有（発表）を行いました。

最後に、質疑応答を行っていただき、盛況のうちに終了いたしました。

（この講演は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、NPO 法人 滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました）



【ご案内】学園祭での地域「里親」ブース設置について

2024年10月1日

里親学生支援室では、「学園祭（若鮎祭）」期間中に『地域「里親」ブース』をNPO法人滋賀医療人育成協力機構と合同で設け、事業の紹介や活動内容等がご覧いただける写真等の展示を行います。
お時間のご都合がございましたら、是非お越しください。

ブース開設時間

「学園祭（若鮎祭）」

日時： 令和6年10月26日（土）10:00～16:00

10月27日（日）10:00～16:00

場所： 滋賀医科大学 福利棟1階入り口付近

里親学生支援室からのお知らせ

10/26(土)・27(日)

学園祭(若鮎祭)での地域「里親」ブース設置のご案内



地域「里親」学生支援事業とは??

将来地域(滋賀)での医療活動を志す医学生を、地域で活躍する医師・看護師・助産師・保健師や地域住民が「里親」・「フ千里親」となって支援することで、地域医療にたずさわる医療人として養成し、深刻化する地方の医師不足・看護師不足の解決をめざすための事業です!!

どんな活動をしているの?

里親事業として13回目の卒業生6名を送り出し、現在、72人の学生に対して里親が80人、フ千里親が9人登録いただき、里親の方々にはメールなどを通して学生と交流いただいています。また、里親・フ千里親・教職員は学内外を問わず学生支援のための研修会を実施し、滋賀の医療の現状についての知識を共有する機会を設けています。3月には長浜市・湖北地域方面への方面への宿泊研修を実施し、学生たちには地域医療の現状や歴史・文化等を学んでもういました。

1月…意見交換会(里親・フ千里親・教職員)

3月…高島市・湖西方面での宿泊研修
などなど…

今後の予定は?

里親・フ千里親としてご協力いただける方、随時募集中!!



⑤福利棟1階

若鮎祭期間中

<https://www.shiga-med.ac.jp/wakaayu/>

<10/26(土)・27(日)>

左記の矢印の場所に、**NP0 法人滋賀医療人育成協力機構と合同でフ**
ースを設けておりますので是非越し下さい!

**宿泊研修などの活動内容を
展示しております!**

※フース開設時間は次の通りです
10/26(土)・27(日) 10:00~16:00

↓↓詳しくは 下記問合せ先まで ↓↓

【問合せ先】 滋賀医科大学 里親学生支援室

TEL 077-548-2072 FAX 077-548-2799

Eメール:safooya@belle.shiga-med.ac.jp <https://www.shiga-med.ac.jp/~safooya/>

「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2024 第二弾！を実施しました。

2024年9月26日

2024 年 8 月 29 日 (木) 17 時から本学臨床講義室 1 で『「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2024 第二弾！』を実施しました。「医療・アート・デザイン・公共プライマリ・ケア医×医系技官一」と題し、台風 10 号が接近している中での開催となりましたが、学生 25 人、研修医 1 名、教職員 4 名の合計 30 人と多くの方に参加していただきました。

今回は、浅井東診療所の高石亮太先生、厚生労働省 健康・生活衛生局健康課地域保健室の松下詢先生をお招きしました。

医療とはかけ離れているアートや、行政といったジャンルの違ったものにふれること、視点をかえることの大事さを教えていただきました。「デザインを用いることで生活を豊かにしたり、物事を新たな視点から考えることができることが印象的でした。」「デザインの定義を知れたこと。デザイン思考を实践しようとした時に、デザインの定義を理解していないといけないから。」といった学生の声もあり、盛況のうちに終了いたしました。

(この講演は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、NPO 法人滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました)



「学内で地域医療の体験ができる課外授業シリーズ 2024 第五弾」を開催します。

2024年9月18日

里親学生支援室では、医学・看護学教育センター・滋賀県医師キャリアサポートセンター・滋賀医療人育成協力機構と共催で、主に医学生など医療系学生、初期研修医の皆さんを対象にした講演会を開催します。ぜひご参加ください。

**「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2024 第五弾！
「地域ケア・まち歩き」出会いと歩みで
”みるみる” めぐる長浜城下町ツアー**

課外授業シリーズ 2024 の第五弾になり、今年度最後の授業シリーズになります。今回は、大学外を出て長浜市内をめぐります。講師は、浅井東診療所 松井 善典先生になります。また、保健師 OB、訪問看護師、都市計画家をお招きします。

みなさんの多くは病院で働くことになりますが、その地域に住む住民にもなります。またみなさんと出会う患者さんはその地域に住んでいる方々です。患者さんのアセスメントや診断の際に、またその患者さんのマネジメントにおいて、地域をみる視座はどれくらい役に立つでしょうか？ 地域を知ることとはどのくらい重要なのでしょうか？ 今回のシリーズでは大学から飛び出して、長浜駅から徒歩 10 分圏の城下町エリアが舞台です。

長浜市で現場保健師から幹部職まで経験し活躍された行政保健師のリアルな経験談、コミュニティナースで訪問看護師の方のさまざまな事例を通した気づき、まちづくり専門家からみる城下町エリアの深い魅力と見えないものを見る力、そして地域を見ることを診療に取り込んで実践してる家庭医とともに、住民さんの生活や人生を地域から垣間見てみましょう。

現地のそれぞれの専門の皆さんと交流できる貴重な機会です。散策でめぐり、対話でめぐる、地域を「診る」「見る」好きになる機会として一緒に歩みましょう！ 是非、ご参加ください。

記

◆日 時:2024 年 10 月 6 日(日)13:00～17:00

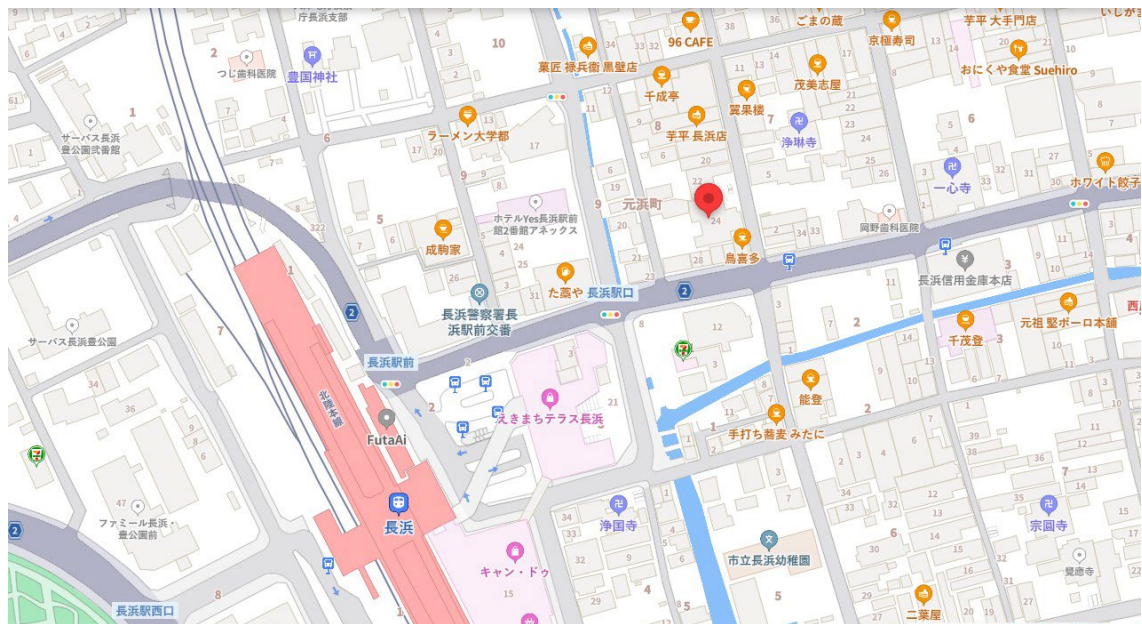
◆講師紹介:

浅井東診療所	所長	松井 善典 先生
一般社団法人 sweet ハート	長浜市保健師 OB	織田 里美 様
アネラ訪問看護ステーション	管理者	北川 理恵 様
長浜まちづくり株式会社	常務、風景プランナー	竹村 光雄 様

◆対 象:医学科・看護学科学生(低学年可)、研修医

◆場 所:北国街道 安藤家、長浜周辺散策
(交通費は各自でご負担ください。)

◆集合場所:北国街道 安藤家(JR 長浜駅徒歩3分)



📢 申込方法 📢

- ①メールにて受付をいたします。
- 申し込み先 医学・看護学教育センター hq
- ②件名【第五弾】申し込み と記載ください。
- ③お名前、学年の記載ください。
- ④申し込み期間:～**10/3(木) 10:00 まで**
- (定員になり次第締切ます、先着順)

以上

国立大学法人 滋賀医科大学

医学・看護学教育センター

520-2192

滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL:077-548-2754

FAX:077-548-2296

E-mail:hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

飛び出せ！！

「学内で地域医療体験ができる」
課外授業シリーズ2024 第五弾！

「地域ケア・まち歩き」出会いと歩みで
“みるみる”めぐる長浜城下町ツアー

10/6（日）13:00～17:00

会場 北国街道 安藤家（JR長浜駅より徒歩3分）
長浜散策

対象 医学科・看護学科学生（低学年可）、研修医



みなさんの多くは病院で働くこととなりますが、その地域に住む住民にもなります。またみなさんと
と出会う患者さんはその地域に住んでいる方々です。

患者さんのアセスメントや診断の際に、またその患者さんのマネジメントにおいて、地域をみる
視座はどれくらい役に立つでしょうか？地域を知ることほど重要なのでしょうか？

今回のシリーズでは大学から飛び出して、長浜駅から徒歩10分圏の城下町エリアが舞台で
す。

長浜市で現場保健師から幹部職まで経験し活躍された行政保健師のリアルな経験談、コミ
ュニティナースで訪問看護師の方のさまざまな事例を通じた気づき、まちづくり専門家からみる
城下町エリアの深い魅力と見えないものを見る力、そして地域を見ることを診療に取り込んで
実践してる家庭医とともに、住民さんの生活や人生を地域から垣間見てみましょう。

現地のそれぞれの専門の皆さんと交流できる貴重な機会です。散策でめぐり、対話でめぐり、
地域を「診る」「見る」好きになる機会として一緒に歩みましょう！



申し込みはこちらから

件名に【第五弾！】参加希望として、お名前・学年を記載して
申込をしてください。

締め切りは **10/3（木）10:00**まで



問い合わせ

滋賀医科大学 医学・看護学教育センター

☎：077-548-2754

📧：hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp



共催

滋賀県医師キャリアサポートセンター

医学・看護学教育センター

NPO法人 滋賀医療人育成協力機構

里親学生支援室

講師陣

医師

松井 善典先生

浅井東診療所 所長

地域という捉えどころのないケアの対象ですが、その人がずっと住まい、その人をケアする人が出会い、その重なりや歩みがあることが魅力です。

医学生・看護学生のうちに、その重なりや歩みを地域とケアをとらえてきた専門職の方々やまちづくりに携わる方と一緒に歩きながら、一生モノの“みる”力を養うことは私の仕事でも大切だと思っています。実際のまち歩きの中で普段とは違う視点や考え方に出会い、風景が変わる体験をしてみよう！

訪問看護師



北川 理恵 様

アネラ訪問看護ステーション 管理者

8年前にコミュニティナースの講座を受け、現在は在住の町内の福祉アドバイザーとして福祉会議に参加したり、町内散歩で町内の方々にお声をかけたりしながら、細々と自分なりの活動をしています。

長浜市保健師OB



織岡 里美 様

一般社団法人 sweetハート

現在、障がい者支援事業所で、障がい者へのケアに携わっています。障がい者と医療は、切っても切れない関係にあり、皆さんの学びに少しでも貢献できればと思います。よろしくお願いします。

都市計画家



竹村 光雄 様

長浜まちづくり株式会社
常務、風景プランナー

湖北長浜の濃密な湖北長浜の濃密なローカリティに魅了され、それらを探究し、創造の源泉として活動する。伝統的町家・路地・水路など都市空間の再生と、それら空間を舞台とした企画やプロジェクトのマネジメントを手掛ける。



「第 21 回卒業後の自分を考える連続自主講座」を実施しました。

2024年8月20日

2024 年 7 月 22 日(月)本学臨床講義室 1 で「第 21 回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました。

今回は医学・看護学教育センター主催の「学内で地域医療の体験ができる課外授業シリーズ」を連続自主講座とし、合同で実施しました。当日は医学科学生 18 名、教職員 3 名の参加者がありました。

課外授業シリーズ第一弾は、藤田医科大学の山地翔太先生をお迎えし、「地域医療と社会起業 二足の草鞋を履いてみる」のタイトルで、医師と起業家という今までにない新しい立場からのお話しをしていただきました。

山地先生は弱い立場の人に寄り添うことを信念にされており、その思いが原動力となり、医師でありながら起業家としても活動されています。これまでの挑戦と苦悩を交えたお話しは、学生にとって有意義な時間となりました。

学生からは「医師の働き方は多様であることを学びました」「非常に刺激的でした」などの声がありました。質問にも丁寧にお答えいただき、盛況にて終了いたしました。

(この講座は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました)



「学内で地域医療の体験ができる課外授業シリーズ 2024 第四弾」を開催します。

2024年8月19日

里親学生支援室では、医学・看護学教育センター・滋賀県医師キャリアサポートセンター・滋賀医療人育成協力機構と共催で、主に医学生など医療系学生、初期研修医の皆さんを対象にした講演会を開催します。ぜひご参加ください。

「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2024 第四弾！ 家庭医療×まちづくり 医療と地域の新しいつながりを考える ～全ての医療従事者、学生のために！人と地域の絆を学ぶ～

課外授業シリーズ 2024 の第四弾になります。医学概論でもお馴染み、永源寺地域で「その人らしい人生」を実現する地域まるごとケアを実践されている花戸先生。今回の講演では「まちづくり」にフォーカスをあて、医療だけでは完結しない地域との繋がりを紐解いてゆきます。心に残るのはどんな医療を受けたのかではなく、どんな時間を過ごしたのか。住み慣れた地域で、自宅で、安心して過ごすためにはどのようなまちづくりをしていく必要があるか、考えてみませんか。

👏👏こんな方におすすめ！！👏👏

- ・「その人らしい人生」を実現する。患者に寄り添った医療を目指したい方へ
- ・家族が介護をする時代は終わる…ケアを支える地域のつながりを学びたい方へ
- ・診療所にジムやレストラン！？地域と健康のつながりを探求したい方へ
- ・その他、興味のある方、どなたでも大歓迎です！

今回は、お菓子🍪🍩を提供させていただきます、是非参加してください。前回同様に、申込制とさせていただきます。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

記

◆日 時:2024 年 9 月 20 日 (金)17:00～18:00

◆場 所:臨床講義室 1(臨床講義棟 1 階)

◆講師紹介:

永源寺診療所 所長 花戸 貴司 先生

1970 年滋賀県長浜市生まれ。1995 年自治医科大学医学部卒業、1997 年湖北総合病院小児科、2000 年永源寺町国保診療所(現・東近江市永源寺診療所)所長。

永源寺診療所では内科・小児科・整形外科などのプライマリ・ケア外来の他、訪問診療・訪問看護も積極的に行っている。保健・医療・福祉が連携した地域包括ケアはもちろん、さらに広く地域の人たちがつながりあう地域まるごとケアに取り組んでいる。

日本小児科学会認定専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

滋賀医大非常勤講師

三方よし研究会 実行委員長

医学博士

東近江医師会副会長

<https://www.youtube.com/watch?v=guHHTRYocBw&authuser=1>

📧 申込方法 📧

①メールにて受付をいたします。

申し込み先 医学・看護学教育センター hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

②件名【第四弾】申し込み と記載ください。

③お名前、学年の記載ください。

④申し込み期間:～9/17(火)13:00 まで

以上

国立大学法人 滋賀医科大学

医学・看護学教育センター

〒520-2192

滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL:077-548-2754

FAX:077-548-2296

E-mail:hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

家庭医療×まちづくり

医療と地域の新しいつながりを考える

～全ての医療従事者、学生のために！

人と地域の絆を学ぶ～

2024. **9/20 (金)**
17:00～18:00

会場 臨床講義室1

対象 医学科・看護学科学生（低学年可）、研修医

医学概論でもお馴染み、永源寺地域で「その人らしい人生」を実現する地域まるごとケアを実践されている花戸先生。

今回の講演では「まちづくり」にフォーカスをあて、医療だけでは完結しない地域との繋がりを紐解いてゆきます。

心に残るのはどんな医療を受けたのかではなく、どんな時間を過ごしたのか。

住み慣れた地域で、自宅で、安心して過ごすためにはどのようなまちづくりをしていく必要があるか、考えてみませんか。

お菓子 ◆ 提供いたします。低学年も是非参加してください。

問い合わせ 滋賀医科大学 医学・看護学教育センター

☎ : 077-548-2754 URL : <http://shiga-meduc.com>

📧 : hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp



講師

花戸 貴司 先生

1970年滋賀県長浜市生まれ。1995年自治医科大学医学部卒業、1997年湖北総合病院小児科、2000年永源寺町国保診療所（現・東近江市永源寺診療所）所長。

永源寺診療所では内科・小児科・整形外科などのプライマリ・ケア外来の他、訪問診療・訪問看護も積極的に行っている。保健・医療・福祉が連携した地域包括ケアはもちろん、さらに広く地域の人たちがつながりあう地域まるごとケアに取り組んでいる。

日本小児科学会認定専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、滋賀医大非常勤講師、三方よし研究会 実行委員長、医学博士、東近江医師会副会長

申し込みはこちらから



締め切りは

9/17 (火) 13:00まで

件名に【第四弾！】参加希望として、お名前・学年を記載して申込をしてください。

共催

滋賀県医師キャリアサポートセンター・医学・看護学教育センター
NPO法人 滋賀医療人育成協力機構・里親学生支援室

「学内で地域医療の体験ができる課外授業シリーズ 2024 第三弾」を開催します。

2024年8月19日

里親学生支援室では、医学・看護学教育センター・滋賀県医師キャリアサポートセンター・滋賀医療人育成協力機構と共催で、主に医学生など医療系学生、初期研修医の皆さんを対象にした講演会を開催します。ぜひご参加ください。

**「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2024 第三弾！
地域医療×公衆衛生 家庭医から学ぶ！地域住民集団の健康を守る方法**

課外授業シリーズ 2024 の第三弾になります。

講師は、滋賀医科大学の OB で現在医療法人滋賀家庭医療学センター 弓削メディカルクリニックの中村琢弥先生です。

医師の仕事は患者を直接診療する以外にも様々なスタイルがあります。その街を生きる住民の健康を守る、これもまた重要な役割です。今回、家庭医として公衆衛生学も学んだ力を活かして、実際に地域でどのような活動を行ったのか、その成果はどうだったのか、など米国公衆衛生大学院での学びの内容や具体的な地域実践事例も交えながら語り合う時間を作りたいと思います。低学年の方も含め、皆様に楽しんでいただけるような学びの時間をお送りします。

第二弾と同様、軽食🍱を提供させていただくことから、申込制とさせていただきます。定員になり次第締め切りとさせていただきます。是非、ご参加ください。

記

◆日 時:2024 年 9 月 6 日(金)16:00～17:00

◆場 所:看護第3講義室

◆講師紹介:

医療法人滋賀家庭医療学センター 弓削メディカルクリニック
／ジョンスホプキンス大学公衆衛生大学院修士号(MPH))

中村 琢弥先生

◆対 象:医学科・看護学科学生(低学年可)、研修医

📧 申込方法 📧

①メールにて受付をいたします。

申し込み先 医学・看護学教育センター hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

②件名【第三弾】申し込み と記載ください。

③お名前、学年の記載ください。

④申し込み期間:～9/3(火)13:00 まで

以上

国立大学法人 滋賀医科大学

医学・看護学教育センター

〒520-2192

滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL:077-548-2754

FAX:077-548-2296

E-mail:hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

「学内で地域医療体験ができる」課外授業シリーズ2024 第三弾！

地域医療×公衆衛生 家庭医から学ぶ！地域住民集団の健康を守る方法

2024. **9/6 (金) 16:00～17:00**

医師の仕事は患者を直接診療する以外にも様々なスタイルがあります。その街を生きる住民の健康を守る、これもまた重要な役割です。今回、家庭医として公衆衛生学も学んだ力を活かして、実際に地域でどのような活動を行ったのか、その成果はどうだったのか、など米国公衆衛生大学院での学びの内容や具体的な地域実践事例も交えながら語り合う時間を作りたいと思います。低学年の方も含め、皆様に楽しんでいただけるような学びの時間をお送りします。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！

会場 対象

看護第3講義室

医学科・看護学科学生（低学年可）、研修医

申し込みはこちらから



締め切りは

9/3 (火) 13:00まで

件名に【第三弾！】参加希望として、お名前・学年を記載して申込をしてください。



講師

中村 琢弥 先生

2007年滋賀医大卒業

医療法人滋賀家庭医療学センター
弓削メディカルクリニック /
ジョズホプキンス大学
公衆衛生大学院修士号 (MPH)

問い合わせ 滋賀医科大学 医学・看護学教育センター

☎ : 077-548-2754 URL : <http://shiga-meduc.com>

✉ : hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

軽食🍷提供いたします。
低学年も是非参加してください。

共催

滋賀県医師キャリアサポートセンター・医学・看護学教育センター
NPO法人 滋賀医療人育成協力機構・里親学生支援室

「学内で地域医療の体験ができる課外授業シリーズ 2024 第二弾」を開催します。

2024年8月6日

里親学生支援室では、医学・看護学教育センター・滋賀県医師キャリアサポートセンター・滋賀医療人育成協力機構と共催で、主に医学生など医療系学生、初期研修医の皆さんを対象にした講演会を開催します。ぜひご参加ください。

課外授業シリーズ 2024 の第二弾になります。今回は、地域医療からもう少し視野を広げて、医療とアート／デザインの関わりについて、オープンセッション形式の講演会を開催したいと思います。

講師は、美大でデザインを学びながら湖北の診療所で活動するプライマリケア医と、厚生労働省に勤務し

公衆衛生に携わっている医系技官で、滋賀医科大学の OB です。

そもそもアートやデザインって何だろう、なぜ医療に関係してアートやデザインを考えておくと良いのだろう、アートやデザインを取り入れた事例って何があるのだろう、そういったことを講師や参加者の皆さんと一緒に考えていきます。

講義は講師によるオープンセッション(ダイアログ)形式で進みます。講義、実習、部活等皆さんが普段過ごしている日常から少し視線をずらして、講師と皆さんの間で双方向に広がりのある内容にできると幸いです。

また、会の終盤ではフリースペーキングの時間も取りたいと思います。医療やアート／デザインにまつわる内容だけではなく、臨床や臨床以外のキャリアについても皆さんの参考になるようなお話ができたらと考えています。

また今回は、軽食🍴を提供させていただくことから、申込制とさせていただきます。定員になり次第締め切りとさせていただきます。是非、ご参加ください。

記

◆日 時:2024 年 8 月 29 日 (木)17:00～18:30

◆場 所:臨床講義室 1(臨床講義棟 1 階)

◆講師紹介:

浅井東診療所 高石 亮太先生

2019 年に滋賀医科大学を卒業後、長浜赤十字病院で初期研修、東京医科歯科大学での総合診療専門研修を経て、現在は浅井東診療所で家庭医療について学んでいます。また、アートやデザインについて学んでいる中で得た視点を皆さんと共有し、今回の講義を通して、皆さんの明日からのビジョンに何か少しでも良い変化が生まれるといいなと思っています。よろしくお願いいたします。

厚労省健康・生活衛生局健康課地域保健室 松下 詢先生

滋賀医科大学ボート部卒業(39期生)。京都岡本記念病院で初期研修修了。

滋賀医大麻酔科に入局したが、研修医のころの救急外来や訪問診療で抱いた関心を捨てきれず、4年目に専門医プログラムを離脱し、政策研究大学院大学公共政策プログラム医療政策コースに進学。

1年かけて公共政策や公衆衛生の基礎的な考え方を学んだ。その後、厚生労働省に医系技官として入省し、現在は健康・生活衛生局健康課地域保健室所属。

◆対 象:医学科・看護学科学生、研修医

📧 申込方法 📧

①メールにて受付をいたします。

申し込み先 医学・看護学教育センター hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

②件名【第二弾】申し込み と記載ください。

③お名前、学年の記載ください。

④申し込み期間:~8/26(月)13:00 まで

国立大学法人 滋賀医科大学

医学・看護学教育センター

〒520-2192

滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL:077-548-2754

FAX:077-548-2296

E-mail:hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

「学内で地域医療の体験ができる課外授業シリーズ 2024 第一弾」第 21 回卒業後の自分を考える連続自主講座を開催します。

2024年7月10日

里親学生支援室では、医学・看護学教育センター・滋賀県医師キャリアサポートセンター・滋賀医療人育成協力機構と共催で、主に医学生など医療系学生、初期研修医の皆さんを対象にした講演会を開催します。ぜひご参加ください。

今年度も始まります、「学内で地域医療の体験ができるシリーズ」です。

今回は、学生からの要望でお招きします藤田医科大学 総合診療科の山地 翔太先生に講師をしていただきます。

総合診療医として地域医療に従事しながら、地域医療に従事する仲間を求めて社会起業をされています。当日は、地域医療や総合診療に興味を持ったきっかけ、学生時代に挑戦したこと、失敗したこと、起業したきっかけなど、赤裸々にお話しいただきます。質疑応答の時間もあるので、是非一步成長してください。

課外授業シリーズでは、地域医療をいろんな角度から知ることができます。低学年から高学年まで、たくさんの方々のご参加をお待ちしています！詳しくは当日の講義を楽しみにしてください！

記

◆日 時:2024 年 7 月 22 日(月)16:30～17:30

◆場 所:臨床講義室 1(臨床講義棟 1 階)

◆講師紹介:

山地 翔太 先生(藤田医科大学 総合診療科 医師)
神戸大学医学部医学科卒業。医学生時代は、日本プライマリ・ケア連合学会 学生・研修医支部 各要職を歴任、文部科学省 トビタテ！留学 JAPAN 12 期生に選抜、厚生労働省 グローバルヘルスリーダー育成のリーディングプロジェクトに参画、元厚生労働委員会筆頭理事 石田昌宏議員の元でインターン、世界 18 各国のヘルスケアリーダー500 名が所属するオンラインコミュニティの発起・運営など活動。総合病院 南生協病院で初期臨床研修を修了、初期研修と並行して、グロービス経営大学院で 7 単位取得、コーチングスクール修了、一般社団法人高校生みらいラボでコーチとして活動。現在は、藤田医科大学 総合診療科で専門研修をしながら、社会起業家としてヘルスケア人材のエンパワメントを専門に活動中。

◆備 考:事前登録等は不要です。

興味がある方は当日会場までお越しください。

キャリア講演会

-地域医療と社会起業
二足の草鞋を履いてみる-

2024.07.22 (Mon)

16:30-17:30 @臨床講義室1

「学内で地域医療の体験ができる」
課外授業シリーズ2024 第一弾！

山地 翔太 先生 キャリア講演会



今回は総合診療医として地域医療に従事しながら、地域医療に従事する仲間を増やすために社会起業をしている山地先生をお招きして、キャリア講演会を開催します。



当日は、山地先生が地域医療や総合診療に興味を持ったきっかけ、学生時代に挑戦したこと、失敗したこと、起業したきっかけなど、赤裸々にお話しいただきます。



会の終盤には質疑応答の時間もあり、自由に山地先生に質問をして、闊達な議論をする時間も設けています。

懇親会

会場：滋賀医大近くの居酒屋

参加費：3,500円から4,000円

*参加は任意です



講師

山地 翔太 先生

藤田医科大学 総合診療科

一般社団法人MATSURI 代表理事

略歴

神戸大学医学部医学科卒業。医学生時代は、日本プライマリ・ケア連合学会 学生・研修医支部 各要職を歴任、文部科学省 トビタテ！留学JAPAN 12期生に選抜、厚生労働省 グローバルヘルスリーダー育成のリーサープロジェクトに参画、元厚生労働委員会筆頭理事 石田昌宏議員の元でインターン、世界18各国のヘルスケアリーダー500名が所属するオンラインコミュニティの発起・運営など活動。総合病院 南生協病院で初期臨床研修を修了、初期研修と並行して、グロービス経営大学院で7単位取得、コーチングスクール修了、一般社団法人高校生みらいラボでコーチとして活動。現在は、藤田医科大学 総合診療科で専門研修をしながら、社会起業家としてヘルスケア人材のエンパワメントを専門に活動中。

皆さんへご挨拶

皆さんはじめまして、医師の山地です。今回の会では、学生時代や研修医時代の僕の挑戦と失敗談をお話したいと思います。他人の成功から学べることは意外と少ないものですが、失敗から学べるものは大きいものです。皆さんよりも少し多く失敗してきた僕から、Tipsをお届けしようと思います。また質疑応答の時間では、自由闊達な議論や対話ができると思います。それでは皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！！

共催：滋賀県医師キャリアサポートセンター
医学・看護学教育センター



NPO法人 滋賀医療人育成協力機構
里親学生支援室

※台風10号の接近により中止となりました。(8/27時点)

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程決定(令和6年8月30日～31日開催)

2024年8月2日

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～長浜市・湖北地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

●8月30日(金)

8:30 大学出発
↓
10:00～11:30 今津病院(説明・見学)
↓
11:45～12:30 昼食
↓
12:40～13:30 旧今津町散策
↓
14:00～15:00 朽木診療所(説明・見学)
↓
15:30～17:00 高島市民病院(説明・見学)
↓
18:00～20:30 交流会(今津サンブリッジホテル)

【宿泊先】 今津サンブリッジホテル 高島市今津町今津1689-2 Tel0740-22-6666

●8月31日(土)

8:30 ホテル出発
↓
9:00～10:30 マキノ病院(説明・見学)
↓
10:40～12:20 メタセコイヤ並木・藤樹書院跡(見学)
↓
12:30～13:30 昼食
↓
14:00～15:30 2班にわかれて研修
まつもと整形外科 又は うえの内科・消化器内視鏡クリニック(説明・見学)
↓
17:00 大学帰学

参加者募集!!

滋賀県の地域医療を
学んでみませんか?

夏期宿泊研修の お知らせ

～高島市・湖西地域方面～



里親学生支援室では**8月30日(金)～31日(土)**に
高島市・湖西地域で宿泊研修を実施します。

今回の研修地域は、永らく滋賀県で唯一「村」であった朽木地区にある朽木診療所や湖西地域で唯一の急性期中核病院である高島市民病院、湖西地域の自然や文化を感じることのできる場所を予定しています。

また、交流会では松本道明院長(まつもと整形外科)に勤務医と開業医の違いをテーマにご講演いただく予定です。

地域の自然、文化に触れながら、地域で生活する人々と、それをささえる病院・診療所等医療施設を見学し、医療従事者の働きを学びませんか?



滋賀県ってどんなところ? 地域医療ってなに? 地域医療をもっと知りたい! など...少しでも興味がある方は是非参加しませんか?

訪問予定先: 高島市民病院、マキノ病院、朽木診療所、まつもと整形外科 等

※参加費として、2,000円を徴収します。(参加当日)

ご希望の方は、**令和6年6月14日(金)まで**に学籍番号・氏名・「宿泊研修参加希望」と明記の上、メール(satooya@belle.shiga-med.ac.jp)でお申込みください。

◆お問い合わせは・・・
滋賀医科大学 里親学生支援室 (学務課内)
TEL: 077-548-2072
E-mail: satooya@belle.shiga-med.ac.jp



「里親学生支援事業」による学生支援とは・・・
将来、地域医療の担い手となる学生さんを地域で活躍する医師・看護師・助産師・保健師の方々が「里親」となって支援するプログラムです。
現在、72名の学生さんが登録しており、約90名の里親・プチ里親の方々が支援してくださっています。

長浜市・湖北地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

2024年4月1日

3月14日（木）～15日（金）に、長浜市・湖北地域方面を訪問させていただいた春の宿泊研修には、学生16名（滋賀医科大学医学科第1～6学年12名、看護学科第1学年1名、自治医科大学医学部第6学年1名、滋賀県立大学人間看護学科1年生2名）が参加しました。

【1日目】

・湖北病院にて研修

滋賀県で一番北に位置する湖北病院を訪問しました。

まず、東野克巳副院長、浦山先生、影山先生のご案内で、滋賀県最北の診療所である「中河内診療所」を訪問しました。そこはほぼ福井県との県境に位置し、冬季は豪雪に見舞われますが、湖北病院の管理により定期的に診療が行われています。

その後、「中之郷診療所」を訪問し、診療所の特徴などお話しいただきました。最後に湖北病院へ戻り、久田先生より湖北病院の特徴や地域包括ケアシステムの必要性、へき地医療の重要性について熱心にご説明いただき、最後に病院見学を行っていただきました。



< 中河内診療所 >



< 中之郷診療所 >



< 湖北病院 >

・長浜赤十字病院にて研修

午後からは、長浜赤十字病院に訪問させていただきました。

楠井院長からご挨拶をいただきました。長浜市の医療について説明いただき、優先順位をつけながら医療を行うことの大切さをお話いただきました。

その後、2班に分かれ、ヘリポートや院内救急部を中心とする施設を見学させていただきました。

続いて、江川副院長から長浜地域における長浜赤十字病院の役割と概要の説明をお話いただきました。

最後に、医学科と看護学科に分かれ、医学科は本学卒業生の西川晃永研修医からご自身の体験談などを交え説明を行っていただき、看護学科では高橋看護副部長、本学卒業生の高橋祐加助産師と意見交換を行い、交流を深めていました。



・長浜市WS

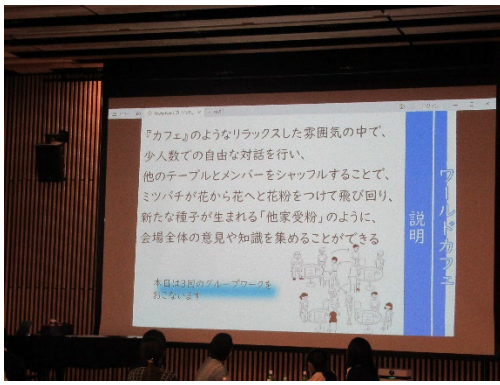
宿泊研修では初めての試みで、長浜市デザイン課によるWSを行っていただきました。

はじめに、浅井東診療所の松井先生よりご挨拶をいただきました。続いて、長浜市デザイン課の方より「長浜市のめざすまちづくり」について説明を行っていただきました。

タイトルは「30 年度に長浜に住む若者の笑顔のために大切なことは？」と題し、急速な少子高齢化に伴い、若者の目線から地域を考えることで、活力をまちにもたらし、持続的なまちづくりが進められるのではないか？という視点でWSが進められました。

各グループに分かれ行政の方や教員も交え、意見交換会を行いました。





・交流会

夕方は、グランパレー京岩において交流会を開催しました。

浅見長浜市長より開会のご挨拶をいただき、是非長浜市で医師・看護師として活躍していただきたいとのお話がありました。

また、訪問先の関係者の方々や行政の方々にご参加いただき学生と交流をはかっていただきました。貴重な意見交換、懇談の場となりました。



【2日目】

・浅井東診療所にて研修

浅井東診療所では、学生たちは、事前に松井所長から提案されたプランの中から希望したコース（地域フィールド&地域住民の方へのインタビュー、訪問看護ステーションの訪問看護に同行、全人的のあの方に会いたい再会インタビュー、医療者シャドウイング&インタビュー）に分かれて、フィールドワークをさせていただきました。地域フィールド&地域住民の方へのインタビューコースでは、浅井東診療所付近を散策し、標高 300mにある「大吉寺」までお参りに行きました。また、沢山の地域住民の方にお越しいただき、学生たちと交流していただきました。

フィールドワークで得た内容を持ち帰り、学生たちは体験を発表することで振り返りの場を持つとともに、個々の体験を共有することができました。



・長浜市まち歩き

昼食は長浜名物の「鯖そうめん」を堪能し、北国街道沿いに続く古い街並の一角にある総称「黒壁スクエア」を散策しました。黒壁銀行の愛称で親しまれた古い銀行を改装した「黒壁ガラス館」や、ギャラリー、お土産店など、古い街並の中に点在しており、各自が自由に楽しみました。



- ・市立長浜病院にて研修

午後からは、市立長浜病院に訪問させていただきました。

高折院長からご挨拶の後、病院の概要についてご説明いただきました。

病院の特徴でもある地域がん診療連携拠点病院の役割などお話しいただき、「医療に対する姿勢をみてもらいたい」と学生たちへ呼び掛けていただきました。

長浜市の医療について説明いただき、優先順位をつけながら医療を行うことの大切さをお話しいただきました。

その後、グループに分かれ、病院見学を行っていただきました。

最後に医学科と看護学科に分かれて、本学卒業生の研修医や看護師の方を含め、学生と意見交換を行っていただき、学生からの質問に熱心に答えていただきました。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれ、地元の方々の暖かな人柄に触れながら、この素晴らしい長浜市・湖北地域で地域医療に従事する学生が一人でも多く活躍してくれることを切に期待しています。

(この研修は、NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターとの共催で実施しました。)

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程決定（令和6年3月14日～15日開催）

2024年1月25日

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～長浜市・湖北地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

● 3月14日（木）

8:00 大学出発
↓
9:15～12:00 湖北病院・中河内診療所・中之郷診療所（説明・見学）
↓
12:15～13:00 昼食
↓
13:45～15:45 長浜赤十字病院（説明・見学）
↓
16:00～18:00 長浜市政策デザイン課によるWS（さざなみタウン）
↓
18:30～20:00 交流会（グランパレー京岩：長浜市八幡中山町）

【宿泊先】 ホテルYes 長浜 駅前館
滋賀県長浜市南呉服町9-30 Tel0749-65-8080

● 3月15日（金）

8:30 ホテル出発
↓
9:00～11:30 浅井東診療所（地域研修）
↓
12:00～14:00 長浜市内散策・昼食
↓
14:00～16:00 市立長浜病院（説明・見学）
↓
17:00 大学帰学

参加者募集!!

滋賀県の地域医療を
学んでみませんか?

春期宿泊研修の お知らせ

～長浜市・湖北地域方面～



里親学生支援室では**3月14日(木)～15日(金)**に
木之本エリアを中心とした**長浜市・湖北地域**で宿泊研修を実施します。

地元の浅井東診療所 松井所長のコーディネートにより、湖北地域の医療や福祉の実際について学べるよう企画しました。また、長浜市の中核病院訪問や、長浜市中心部のまち歩きツアー、国宝見学、さらに長浜市の行政の方とのWSなど予定しています。

地域の自然、文化に触れながら、地域で生活する人々と、それをささえる病院・診療所等医療施設を見学し、医療従事者の働きを学びませんか?



滋賀県ってどんなところ? 地域医療ってなに? 地域医療をもっと知りたい! など... 少しでも興味がある方は是非参加しませんか?

訪問予定先: 浅井東診療所、湖北病院、長浜赤十字病院 等

※参加費として、2,000円を徴収します。(参加当日)

ご希望の方は、**令和5年12月15日(金)までに**学籍番号・氏名・「宿泊研修参加希望」と明記の上、メール(satooya@belle.shiga-med.ac.jp)でお申込みください。

◆お問い合わせは・・・

滋賀医科大学 里親学生支援室 (学生課内)

TEL: 077-548-2072

E-mail: satooya@belle.shiga-med.ac.jp



「里親学生支援事業」による学生支援とは・・・
将来、地域医療の担い手となる学生さんを地域で活躍する医師・看護師・助産師・保健師の方々が「里親」となって支援するプログラムです。
現在、66名の学生さんが登録しており、約90名の里親・プチ里親の方々が支援してくださっています。